|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （別記様式　）  令和　　年　　月　　日  遺伝子改変ラットの作製等（凍結保存を含む。）申請書  熊本大学生命資源研究・支援センター長　殿  住所  名称  役職  氏名  （法人にあっては代表者）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研究者名  熊本大学生命資源研究・支援センターにおける受託に関する規則及び所定の遵守事項を遵守の上、下記のとおり申請します。  なお、作製等の料金の納付後は、いかなる場合も返還申し出は行いません。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | ●申込内容（複数可）   * 凍結保存 * 個体作製 | ●CARDへの搬入形態   * ラット雄個体 * 精巣上体尾部 * CARDに保存中の胚/精子 | ●ご希望の胚保存形態（複数可）  □　胚　　□　精子  保存期間（　　　　　　年）  ●胚の品質管理  □　胚移植　□　胚培養 | | ●系統名　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | ●遺伝的背景（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | ●送付ラットの情報  □遺伝子組換え生物等の第二種使用等をしている  □遺伝子改変ラット（突然変異を含む）である  □遺伝子組換え実験に関する安全委員会等の承認を受けて作製したラットである  □大臣確認を受けて作製したラットである（大臣確認）  □遺伝子組換え実験に関する安全委員会等のみの承認を受けて作製したラットである(機関承認)  □　P1A　□　P2A　□　P3A　※P2A及びP3Aは実験計画書の写しを別途提出ください | | | | * 個体でCARDへ搬入する場合   雄の生年月日（　　　　　　　　　　　　　）ホモ　　匹　ヘテロ　　匹  受精卵作製に必要な雌の系統をご記入下さい。  　　系統名　（　　　　　　　　　）　　業者名　（　　　　　　　　　　　　） | | | | * 精巣上体尾部でCARDへ搬入する場合   　由来となる雄の生年月日（　　　　　　　　　　　　　）ホモ　　匹　ヘテロ　　匹  毛色（　　　）  受精卵作製に必要な雌の系統をご記入下さい。  　　系統名　（　　　　　　　　　）　　業者名　（　　　　　　　　　　　） | | | | * 連絡先   請求者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　e-mail  請求者住所  請求者所属  TEL・FAX  研究者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　e-mail | | | | * 当てはまる系統にチェックをつけてください   □　1.近交系ラット　　　　　　　　　　　□　4.標的変異（ノックアウト）ラット  □　2.自然・人為突然変異ラット　　　　　□　5.遺伝子トラップ（Gene trap）ラット  □　3.トランスジェニックラット　　　　　□　6.その他 | | | | * 支払い経費区分   □　科研費　※熊本大学内研究者は、凍結保存のみの場合使用不可。また２月末までに個体作製完了の必要有り  □　寄附金  □　大学運営経費  □　その他〔　　　　　　　　　　　　　〕  ●予算詳細コード（　　　　　　　　　　）※熊本大学内研究者は記載必須 | | | |

（別 紙）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 核酸供与体 | 供与核酸 | ベクター | 宿主等 | 保有動植物等 | 拡散防止措置の区分 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |

遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表

＜記入上の留意事項＞

１　本表には、当該第二種使用等に係るすべての遺伝子組換え生物等及び当該第二種使用等をする間に執る拡散防止措置の区分について記載する。また、核酸供与体、供与核酸、ベクター、宿主等、保有動植物等及び拡散防止措置の区分の個々の組合せ並びに実験の一連の流れがわかるように記載する。

２　「核酸供与体」の欄には、核酸供与体となる生物の種名、系統名等を記載する。

３　「供与核酸」の欄には、ゲノムＤＮＡ、相補ＤＮＡ、合成ＤＮＡ等の供与核酸の種類や名称等を記載する。

４　「ベクター」の欄には、ベクターの名称を記載すること。なお、ウイルスは、ベクターとして用いる場合であっても、宿主として扱われるので、宿主等の欄に記載する。

５　「宿主等」、「保有動植物等」の欄には、それぞれ、宿主、遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物及び細胞等の種名、系統名等を記載する。

６　「拡散防止措置の種類」の欄には、別表第二、別表第三、別表第四又は別表第五の上欄に掲げる拡散防止措置の区分を参考に、実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載する。

７　「備考」の欄には、以下の事項を記載する。

1. 遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の組合せのうち大臣確認実験に該当する場合には、その旨
2. 認定宿主－ベクター系を用いる場合には、その区分
3. 各段階における主な目的等